

# ホザキノミカキグサ

*Utricularia caerulea* L.

夕又キノモ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー

該当なし

## 選定理由

生育地が限られ、環境の変化により容易に絶滅する危険がある。(現況:R-)

## 形態

地下部に捕虫囊をつけ、地上葉はへら形である。花軸は高さ10~15cm。花は淡紫色で、2~6花をつける。距は前方に突き出す。

## 国内分布

北海道、本州、四国、九州、沖縄。

## 県内分布

中能登区、南加賀区。

## 生態など

多年生の食虫植物。花期は6~10月。

## 生育環境

低山の湿地。

## 危険要因

森林伐採、池沼開発、土地造成、自然遷移、産地局限、土壌の浸食、水位上昇。



本多郁夫・2002年8月10日・能登

分布図はありません。

県内の分布